

“Dialogue” with the President

# 『総長対話』論点リスト

重要度・・・★☆☆

## 総長対話についての質問

- 事前資料の内容・時期への批判
- オンラインのみでの開催への批判
- 今後の検討でこれがどう活かされるのか？
- これは本質的に「対話」ではない
- 資料の恣意性

- 海外比較
  - THE世界大学ランキング
  - 授業料が高いのは英米の大学のみ。スイス、中国は上位だが授業料が安い。
  - ハーバード大学では学生の7割が奨学金を得ている。
- 改定している大学
  - 改定していない大学のほうが圧倒的に多い
- 運営費交付金
  - 京大とか東北大は経営努力やっている
  - 交付金を増やしてもらえれば解決。
  - R3以降、全体の運営費交付金の減少より東大の運営費交付金の減少が大きい。経営がまずいのではないか。

重要度・・・★★★☆☆

## 意思決定過程についての質問

- 複数回交渉の可否→学生を納得させる気はあるのか？
- 全体として学生を軽視している（他国の大学の事例）
- 教員内部でも話していない？（一部役員だけで議論？）
- そもそもいつから議論し始めたの？
- なんでパブリックコメントを取らなかった？

重要度・・・★★★☆☆

## 許容性についての議論

- 社会権規約13条2項c（無償教育の漸進的な導入）
- 能力に応じ教育を受ける権利：公平の問題
- D&I宣言、東大憲章 I [教育の目標]（門戸を開き～）
- 学生の生活水準が厳しくなっている

重要度・・・★★★★★

## 学費減免措置についての質問

- 病気によって成績が悪くならざるを得ないもある
- 毎年申請が通るか分からない（しかも入学後）
- ちょっとでも上限額を超過したら出ない
- 親が学費を出してくれない状況に対応できない
- 申請の手間が大きく学習・研究時間が奪われる
- とりわけ、大学院では実家からの援助に頼れない学生が多い(特に文系)
- 授業料値上げで進学を諦める人には特に地方の女子学生やセクシャルマイノリティの学生が多い

重要度・・・★★★☆☆

## 必要性についての議論

- なぜ今？（今後も増額する？）  
+卓越認定で増収するかもしれないのにな？
- なぜ授業料？（支出削減努力・寄付金は？）
- なぜ10万円？
- 実際、今授業料減免措置等の対象者へのヒアリングは行ったのか
- 実態に即した運用の議論がなされていないのなら、言ってるだけ

ざっくりとした質問例については表面を参照！ →

## “Dialogue” with the President

# 『総長対話』質問リスト

### 1. 「総長対話」についての質問 重要度・・・☆☆☆

「対話」は、二つのロゴスがぶつかって互いが変容していくもので、**意見の押しつけではない**。この「総長対話」は、事前  
に示された資料が既に公表されている内容をまとめたものに過ぎず、(今月中に値上げの結論が出されるという報道がある中  
で、) 複数回開催や対面開催も拒絶している。これは、結局のところ、実質を伴わない、学生と対話したという**既成事実造り**  
のためのものであるとしか考えられない。これは**学生を軽視する態度であり、容認できない**。

**今日少し対話ただけで学生は納得しない**。今後、このような「対話」を複数回実施するとともに、学生側の代表との継続  
的かつ緻密な議論を伴う交渉を行うことが必要だと考えているが、どうか。

### 2. 決定プロセスについての意見表明 重要度・・・☆☆☆

今回の授業料値上げプロセスにおいては、**役員のみで議論が先行しているのではない**か。学生に対しては5月中旬に報道で  
知ってから今日まで何ら検討案を提示されておらず完全に蚊帳の外に置かれている。

また**教職員でさえ何も知らない**とのことであり、多様な人が意思決定に参画できていないとはいえない。多くの人に関わるこ  
とであるのに、**トップダウンで決められ、説明責任が十分に果たされない**のは、国際卓越研究大学への応募などの際に懸念さ  
れたことそのものである。

大半の学生の理解を得ないままでの授業料値上げは**全構成員自治の理念に基づく東大確認書を反故にし、また自ら定めた東  
大憲章を形骸化させることになる**ので、**少なくとも大半の学生の理解を得ないまま授業料値上げを行わないことを約束してほ  
しい**。

### 3. 許容性についての質問 重要度・・・☆☆☆

授業料値上げに反対である。そもそも授業料値上げは許容されないからだ。例えば日本が締結している社会権規約13条2項  
Cは、高等教育の漸次無償化を定めており、**授業料値上げは国際信義に反するものだ**。また、**授業料値上げによって家庭の経  
済的事情から東大ではなく安い授業料の国立大学を選ぶ学生がいる**ことも考えられ、これは東大が自ら定めたD&I宣言や東大  
憲章と矛盾する。

条約との矛盾及びD&I宣言・東大憲章との矛盾について、それぞれ総長はどう考えるか。

### 4. 授業料値上げの必要性についての諸質問 重要度・・・☆☆☆

① **学生にとっては、授業料値上げの理由が分からない**。まず、**国際卓越研究大学に通れば増収が見込まれる**中でなぜ現在値  
上げするのか。国際卓越研究大学に応募するにあたって**学内でトップダウンの改革ができていることをアピールするだけ**なの  
ではという見方もあるがどうか。また、**なぜ上限値の10万円も値上げをするのか**。最初に値上げをした東工大は必要額のみ値  
上げを行った結果、上限満額までは至っていない。東大ではどうなのか。

納得する理由を示してほしい。

② 値上げの背景としてDXが取り沙汰されているが、**なぜそれが授業料値上げによって賄われる必要があるのか**。支出削減努  
力がされているのか、寄付金増加や運営費交付金の増加の申し入れなどをしたのか。それをしないまま**学生に負担を押し付け  
るのはおかしい**と思うが、どうか。

**仮にDXの詳細が示された場合**：DXは本来は授業料値上げせずに運営費交付金などから賄っていたものである。それなのに殊  
更に学生に関わるもののみを切り出して授業料値上げの根拠にしようとするのは、本来運営費交付金などで賄われるべき**DXが  
全体的な赤字によって運営費交付金の枠内でできなくなっている事実を覆い隠すもの**である。経営の責任である赤字を学生の  
みに転嫁させようとするのはおかしいと思うが、どうか。

**仮に物価高騰が理由と説明した場合**：消費者物価指数は20%も上がっていない。それに、**そのツケを学生のみに負担させるの  
はおかしい**と思うが、どうか。

### 5. 学費減免措置についての質問 重要度・・・☆☆☆

**学費減免の拡充があれば授業料値上げが許されるかのような議論には賛成できない**。親に十分な収入があるのに家庭事情か  
ら学費を出してくれないようなときに家計基準を満たさなかったり、病気などで試験を欠席した結果学力基準を満たさなかつ  
たりするのは容易に想像ができる。多子状況の勘案についても、現在は就学している子のみで、過去に何人の子育てをしたか  
は加味されない。さらに、申請が通るかどうかわからない不安もあるし、申請には手間がかかり学業に専念できなくなる。**経  
済的困窮者がそれ以外の人に比して学業に専念できないのは不公平**である。

以上から、学費減免措置の拡充があるから授業料値上げも許容されるという議論は誤りだと考えるが、どうか。

**詳細な論点については裏面を参照！ →**